

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年6月26日

札幌市長 様

提出者

住 所 〒060-0033

札幌市中央区北3条東1丁目

氏 名 北海道旅客鉄道株式会社 JR札幌病院

病院長 四十坊 典晴

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 011-208-7150

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	JR札幌病院
事業場の所在地	札幌市中央区北3条東1丁目
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医療業 一般病院 [7311]
② 事業の規模	312床
③ 従業員数	542名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性産業廃棄物＝専用の容器に入れ→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し焼却処分→管理型埋立処分場

(日本工業規格 A列4番)



特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

※別紙添付

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油
	排 出 量	151.244 t	0.324 t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染性産業廃棄物＝コロナ患者対応増のため廃棄物が増加した。 ・廃液類は必要性があり使用しているため、減量は出来ず。 		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油
	排 出 量	150.000 t	0.300 t
	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染性産業廃棄物＝①感染防止対策室の更なる指導と、減量についても安全性を考慮し指導を行う。(今後もコロナ入院患者の対応を行うため大幅な減量は望めない。) 		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	感染性産業廃棄物＝環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部作成 「感染性廃棄物処理マニュアル」に則り、①鋭利物 ②固形物 ③液状 ・泥状バイオハザードマークを用いて安全に配慮し分別を行う。 ・各診療部署の発生量に応じて4種類の容器を使い分けている。		
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染性産業廃棄物については現状の分別管理を継続する。 ・院内感染や医療従事者の事故防止、安全の確保を最優先とする。 		

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油
	全処理委託量	151.244 t	0.324 t
	優良認定処理業者への処理委託量	151.244 t	0.324 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託基準に従って、許可を持った産業廃棄物処理業者に委託している。 ・契約時に処理業者を訪問し、施設と処理方法を確認している。 ・処理に関しては、信頼の高い処理業者を選定している。 			

② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油
	全処理委託量	150.000 t	0.300 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	150.000 t	0.300 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・感染性廃棄物の取り扱いの指導を強化する。 ・感染防止対策室による勉強会を実施すると共に、適正な処理と減量に努めるよう指導する。 			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	151,568 t	
	(今後実施する予定の取組等)		
電子マニフェストを使用。			
※事務処理欄			

廃棄物処理に関する管理体制

総括責任者		所属 : JR札幌病院	職名 : 事務部長
廃棄物担当		事務部 総務グループ	組織人員 12人
役割	廃棄物管理担当部局 事務部 課長(総務)	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物、産業廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生及び費用の抑制、リサイクル率向上、分別の促進、年間計画、廃棄物適正処理管理、処理業者選定、電子マニフェスト管理、排出量管理等を行う。 	
	廃棄物処理総括責任者 事務部長	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理方針を策定 廃棄物処理に関する事項の決定・承認 	
	廃棄物処理管理者 総務グループ 主席	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理計画作成 廃棄物処理の検証 適正処理管理 廃棄物処理業者選定 廃棄物処理委託契約の締結 電子マニフェスト管理 廃棄物保管庫管理 監督官庁への各種報告 院内従事者職員への廃棄物抑制とリサイクルへの啓発 特別管理産業廃棄物管理責任者の設置 その他、廃棄物処理に関する事項全般 	

管理体制図

